

川崎汽船とのCCSバリューチェーン構築に向けた 液化CO₂船舶輸送の共同検討に関する覚書締結

2023年1月19日
関西電力株式会社

関西電力株式会社（以下、「関西電力」）は本日、川崎汽船株式会社（以下、「川崎汽船」）と、二酸化炭素回収貯留（Carbon dioxide Capture and Storage, CCS）バリューチェーン構築に向けた液化CO₂船舶輸送の共同検討に関する覚書を締結しました。両社は今後、関西電力が運営する火力発電所から排出されるCO₂を対象に、液化CO₂の海上輸送・貯留に関する最適な輸送スキームやコストについて共同検討を行い、将来のCCSバリューチェーンの構築を目指します。

CCSはCO₂を回収・貯留する技術で、2050年カーボンニュートラル社会の実現に向けて重要な役割を担うことを期待されています。本共同検討では、長距離・大規模な輸送に適した液化CO₂船による海上輸送について調査・検討を行い、より柔軟なCCSバリューチェーンの構築を目指します。

関西電力は、「[ゼロカーボンロードマップ](#)」において「事業活動に伴うCO₂排出を2050年までに全体としてゼロとする」道筋を定めています。関西電力グループは、当検討を通じた液化CO₂輸送事業を含めたCCSバリューチェーン構築を進め、お客さまや社会のゼロカーボン化に貢献していきます。

以上